

介護現場等における お困りごとと発表会

テーマ 『現場で使われる福祉機器開発
“安心して使える” 福祉機器をどう作る？』

日時 令和8年3月11日(水) 13時30分～16時30分

開催方法 Webオンライン開催 **参加定員** 企業、介護施設等関係者
(Microsoft Teamsにて実施) (最大500名)

活用現場の生の声と、開発段階でクリアすべき安全性とは？
“使われる” 福祉機器の条件とは？



参加費
無料

申込締切
3月4日(水)
正午締切

“安全・安心” をカタチにする開発のヒントを得よう！

申込方法



▲アクセス！

① QRコードからのお申込み

QRコードを読み取り、申込フォームに必要事項をご記入の上、お申込みください。

② ホームページからのお申込み

<https://hyogo-kaigotech.jp/>

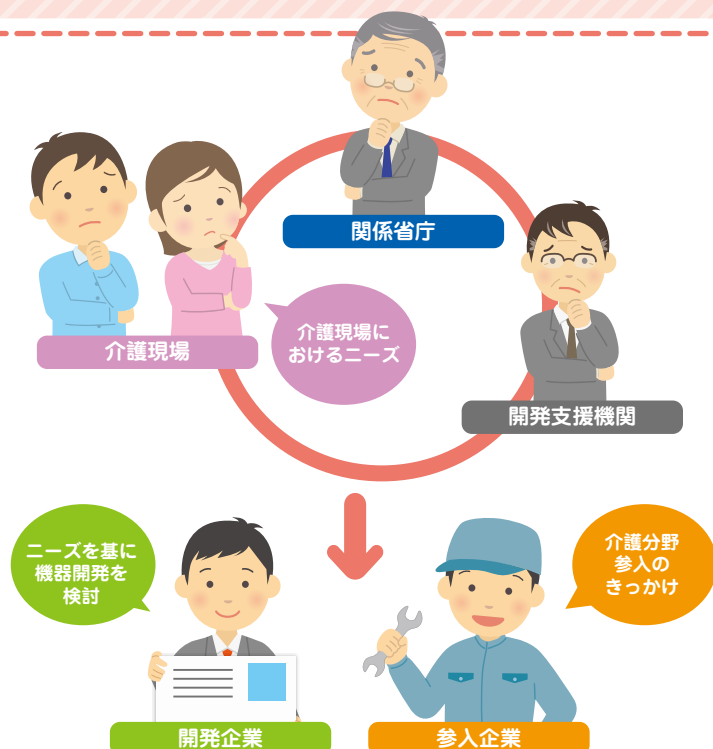
「ひょうご介護テクノロジー導入・生産性向上支援センター」HPよりお申込みください。

※開催1週間前（募集終了後）にTeams タウンホールの招待URLを登録メールアドレスにご連絡します。

お困りごと発表会

介護現場では、少子高齢化に伴う人材不足や業務負担の増加により、介護ロボットやICT機器など「介護テクノロジー」への期待が高まっています。しかし、現場で本当に“使われる”福祉機器をつくるには、現場ニーズの把握と、安全性・使いやすさを考慮した開発プロセスが不可欠です。

本セミナーでは、厚生労働省・経済産業省より次年度事業の最新情報を共有し、介護施設での機器活用事例、JASPECによる安全性確保のポイントを紹介します。介護分野への参入を検討する企業にとって、現場の声を捉えた製品開発のヒントを得られる貴重な機会となります。



～プログラム～

13:00～	受付開始	
13:25～13:30	オリエンテーション	
13:30～13:35	開会挨拶	兵庫県立福祉のまちづくり研究所 所長 陳 隆明
13:35～14:05	テクノロジー等を活用した介護現場における 生産性向上の重要性とその施策について	厚生労働省 老健局 高齢者支援課介護業務効率化・生産性向上推進室 主査 小林 美穂氏
14:05～14:35	経済産業省における介護テクノロジー関連政策について	経済産業省 商務・サービスグループ 医療・福祉機器産業室 係長 丸古 京香氏
14:35～14:45	ひょうご介護テクノロジー導入・生産性向上支援センターの開発支援	
14:55～15:40	利用者・職員にとって安全・安心な環境を 作するための福祉機器の活用	社会福祉法人 シルヴァーウィング 理事長 石川 公也氏
15:40～16:25	現場で使われる福祉機器開発 “安心して使える”福祉機器をどう作る？	JASPEC 西山 輝之氏
16:25～16:30	全体質疑応答	

お問い合わせ

兵庫県立福祉のまちづくり研究所

ひょうご介護テクノロジー導入・生産性向上支援センター

〒651-2181 兵庫県神戸市西区曙町1070 ✉ [robo-shien\(a\)assistech.hwc.or.jp](mailto:robo-shien(a)assistech.hwc.or.jp)